



# 課題整理の参考様式

令和6年5月 共創型官民連携促進チーム

【東北経済産業局、関東経済産業局、中部経済産業局、中国経済産業局、四国経済産業局、九州経済産業局、沖縄総合事務局】

共創型官民連携促進チーム(※1)では、自治体と企業が単なる受発注の関係を超えて、共に課題を解決するパートナーとしてプロジェクトを共に創る「共創型の官民連携」を促進しています。

共創型の官民連携の第一歩は「困っている」と伝えること。しかも、必要十分な情報をわかりやすく伝えることが重要であると考えています。

本資料は、共創型の官民連携を促進するため、「課題を明確にする」ことをテーマに、課題を整理する際の参考様式として作成しました。これまでに、共創型官民連携促進チームで取り組んで参りました「ガバメントピッチ(※2)」や、「よりよい官民連携を考える勉強会(※3)」で得られたノウハウ・知見を盛り込み、実践的な内容にしています。課題の整理を進める上での流れ、検討すべき内容の確認や、様式として課題を整理する際にご活用ください(※4)。

共創型の官民連携に取り組んでみたいけれど「困っていることはあるが、課題を明確にできない」と感じていらっしゃる皆様の一助になれば幸いです。

共創型官民連携促進チーム

- ※1:東北経済産業局、関東経済産業局、中部経済産業局、中国経済産業局、四国経済産業局、九州経済産業局、沖縄総合事務局
- ※2:自治体が地域課題を整理し、企業に向けて発表を行い、企業が解決方法を提案することで、マッチングを図る取組。

(自治体との共創でヘルスケア分野の課題解決に取り組む企業を募集します(応募終了) (METI/経済産業省関東経済産業局))

- ※3:自治体、企業、支援機関が一堂に会し、共創型の官民連携に関する知識習得や相互理解の醸成を図る取組。
  - (「よりよい官民連携を考える勉強会」よりよい地域をよりよい連携で」参加者を募集します(応募終了) (METI/経済産業省関東経済産業局))
- ※4:共創型官民連携の取組ノウハウを記した「COMPASS」において記載方法を解説しております。本様式の活用にあたってはそちらをご参照ください。

(共創型官民連携の取組ノウハウをとりまとめたガイドライン及び参考様式を公開しました(METI/経済産業省関東経済産業局))

### 課題整理シート1/2 (テーマ:)

テーマに関し、①から順に記載ください。 ○○市 ○○課 担当者名 → ①ありたい姿:○年後 - ③ギャップ ②現状 【これまでの取組】 【取組を継続した場合】 【ありたい姿】 【状態】 【ギャップ】 ④課題(ありたい姿と現状とのギャップを埋めるために取り組むべきこと) 課題1 課題 2 課題3

# 課題整理シート2/2 (テーマ:)

テーマに関し、①から順に記載ください。

4課題	⑤不足	<b>⑥強み</b>
課題 1		
課題 2		
課題 3		

テーマに関し、①から順に記載ください。

○○市 ○○課 担当者名

## ②現状

#### 【これまでの取組】

- ・テーマに関するこれまでの取組を記載ください。
- ・実施内容、実施状況、対象者、人数等具体的に記載ください。

### - ③ギャップ

#### 【取組を継続した場合】

- ・これまでの取組を継続した場合、どのような状態になると考えられるか記載ください。
- ・現に起きている問題は解決されるのか、また、新たな問題が発生するのか記載ください。

# → ①ありたい姿:○年後

#### 【ありたい姿】

・担当者の考える理想の状態を記載ください。 ※現在の延長線で考えるのではなく、ゼロベースで検討 し、記載ください。

#### 【状態】

以下のような点について記載ください

- ・どのような現象が起きているか
- ・どのような問題が起きているのか
- 誰が困っているのか
- ・問題が起きている原因は何か 等

#### 【ギャップ】

- ・現在の取組を継続した結果、ありたい姿にたどり着かない場合に記載ください。
- ・ありたい姿と現状のギャップを記載ください。

### ④課題(ありたい姿と現状とのギャップを埋めるために取り組むべきこと)

#### 課題1

- ・ギャップを埋めるためにやるべきことを記載ください。
- ・課題が複数ある場合は、ひとまとめにせず、課題2、 課題3の枠を使用してください。
- ※更に多い場合は枠を増やして記載ください。

#### 課題 2

#### 課題3

テーマに関し、①から順に記載ください。

4課題	⑤不足	<b>⑥強み</b>
課題1 前ページからコピーしてください。 ※以下、同様。	・課題をクリアするために、自治体内の強みだけで対応できないことを記載ください。 ※以下、各課題に対する不足を記載ください。	・課題1に対して、自治体内の強みを発揮できる場合、 その強みを記載ください。 ・できるだけ多く記載してみましょう。 ※以下、各課題に対する強みを記載ください。
課題 2		
課題3		

# 作成・協力

## 作成

共創型官民連携促進チーム

### 【構成】

関東経済産業局 地域経済部 地域経済課ヘルスケア産業室

東北経済産業局産業部 商業・流通サービス産業課

中部経済産業局 地域経済部 航空宇宙・次世代産業課

中国経済産業局 総務企画部 企画調査課

地域経済部 製造産業課

四国経済産業局 地域経済部 新事業推進課

九州経済産業局 地域経済部 ヘルスケア・バイオ産業課

沖縄総合事務局 沖縄経済産業部 企画振興課

## 協力

株式会社官民連携事業研究所 よりよい官民連携を考える勉強会 ご参加者様



お問い合わせ:関東経済産業局 地域経済部 地域経済課ヘルスケア産業室 電話:048-600-0342 メール:bzl-kanto-healthcare@meti.go.jp